

## 当社のLNG調達取組み

- ・当社は、LNGの需要変動に対し、長期契約による取引を中心にスポット取引を組合せた調達を実施し、供給安定性、経済性、引取数量の弾力性を追求。
- ・長期契約においては、調達量の7割強を占めるインドネシアのアルン との契約が本年末で終了することを受け、アルン とは契約条件の一部を見直して5年間期間を延長したほか、新規にマレーシア・ティガ、西豪州拡張プロジェクトとの間で売買契約を締結。
- ・スポット取引については、緊急時等に伴う需要変動に対し、より弾力的なLNG調達を可能とするLNGマスター契約を導入。昨年は、カタールガス社と締結、今年11月には、オマーンLNG社との間で締結する予定。
- ・調達ソースの対策に加え、エネルギー事業者間の取組みとして、緊急時等のLNGの相互融通や需要変動に応じたLNG引取調整を可能にする相互協力協定を昨年5月に韓国ガス公社と締結し、引取数量の弾力性をより一層高めている。

### <現在購入している長期契約プロジェクト>

プロジェクト名	購入予定数量	契約期間
アルン (インドネシア)	年間約300万トン	1984～2004年(21年間)
マレーシアデュア( )	年間約50万トン	1996～2016年(20年間)
カタール	年間約54万トン	1999～2021年(23年間)

### <今後購入を予定している長期契約プロジェクト>

プロジェクト名	購入予定数量	契約期間
アルン 延長(インドネシア)	約83万トン	2005～2009年(5年間)
マレーシアティガ( )	約50万トン	2005～2025年(20年間)
西豪州拡張	平均約40万トン	2005～2020年(15年間)

### 平成15年度調達実績

長期契約	407万トン
(内訳) アルン	289万トン
マレーシア	58万トン
カタール	60万トン
スポット取引	5万トン
(カタールマスター契約分)	5万トン
合計	412万トン

### 長期契約による供給ソース比較

～新規調達による分散化の実現～

